



志木二小だより

<http://www.shiki2syo.ed.jp/> 志木二小 検索

令和7年度6月2日号

志木市立志木第二小学校

志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

学校教育目標 **思いやりのある子 進んで学ぶ子 健やかな子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	6/2+現在
	77	71	81	84	80	84	8	485

「志木二小だより」の上段には、その月の「全校集会」で子供たちに伝えた内容を中心に掲載してまいります。よろしければ、ご家庭でも話題にいただければ幸いです。

まほうの ことば・・・

～「ありがとう」「ごめんなさい」「だからこそできること」～

校長 佐々木 幸



木々の緑も色濃くなり、子供たちが育てている植物もぐんぐんと生長しています。先日は、ご多用中にもかかわらず、個人面談のためにご来校いただきありがとうございます。保護者の皆様とお子さんについての様子を共有させていただくことで、子供たちをより深く、そしてより広く理解し、日々の指導に役立ててまいりたいと思います。

さて、先週の全校集会で、二小っ子のみんなと「まほうのことば」について考えてみました。学校の生活の中では、たくさんの「ありがとう」に出会うことがあります。例えば、朝、うまく登校できないでいる低学年の子に、高学年の子供たちが優しく寄り添い「一緒に教室に行こう。」と声をかけてくれています。そんな時には、心の底からありがたいと感じるとともに、しっかりと言葉として「ありがとう」を伝えるように心がけています。「ありがとう」の言葉を伝えることで、お互いにそして、その場がとても温かいものになります。また、友達とうまくいかなかったり、失敗してしまったりした時には「ごめんなさい」と伝えることも、とても大切なことでしょうか。自分自身の間違いや失敗を認めるということは、とても勇気のいる行動です。「ありがとう」や「ごめんなさい」は、人と人をつなぎ、人と人との関係を円滑にする魔法のような言葉だと感じています。

ところが、最近、同じように魔法のような効果のある言葉に出会うことができました。それが「だからこそできること」です。書道家の武田双雲さんは、物事を前向きに考えることが幸せに過ごすためのコツのひとつだと考えているそうです。「だからこそできること」を使うと、うまくいっていることも、うまくいっていないことも、前向きにとらえることができます。「うまくいっているからこそできること」「うまくいっていないからこそできること」「今のクラスだからこそできること」「仲間とだからこそできること」「二小っ子だからこそできること」「あなただからこそできること」。学校生活では、様々なことが起こります。学校やクラスの力が結集されて大成功すること。がんばってきた努力が実る瞬間。友達に思いがうまく伝わらない時。何だかいろいろなことがうまくいかない時。それらの全ての経験が、子供たちを大きく成長させてくれ、未来へとつながっていると考えています。子供たちが、今、経験しているたくさんのことを「だからこそできること」と前向きにとらえて、次へと挑戦できるよう、一人一人に寄り添ってまいりたいと思います。

＜志木二中学区で育てる力～社会で胸を張って自己実現できる子を育てるために～＞

5月16日の合同引き渡し訓練では、ご協力いただき大変ありがとうございました。大地震等の万が一の場合のための訓練ですが、最近ではゲリラ豪雨や雷等も心配されるところです。今後も、子供たちの安全を第一にまいりますので、万が一の際のご理解とご協力をお願いいたします。

さて、合同引き渡し訓練後、二小と四小の教員が一堂に会し、学年ごとに今年度一緒にできそうな学習活動について話し合いました。相手がいるからこそできること、学びが深まることもあるのでしょうか。今後も子供たちにとって意義のある学習活動を進めていきます。

